

平成29年度 世界史Aシラバス（1年）

帝国書院「明解 世界史A」

関心・意欲を育てる	世界の歴史に対して深い関心を持つ。
思考力・判断力をきたえる	年表や写真・地図・図表から歴史的な情報を読みとる。 歴史的な事がらと、人々の生活・文化を関連づける。
知識を身につける	世界の諸地域の歴史について基礎的な知識を身につけ、歴史的な関係がわかるようになる。

部	学習内容	時数	学習のねらい
第一部 諸地域 世界の 交流 圏	1. 東アジア世界 2. 東アジア文化圏の特徴と拡大	4	風土、生活、言語、思想などの視点から、東アジア世界の特質を巨視的に把握させる。
	3. 南アジア世界 4. 東南アジア世界 5. 西アジア世界 6. イスラーム世界	4	多様な風土と民族からなる南アジアが、宗教と社会制度を共通の基盤として一つの地域世界を形づくったことを把握させる。
	7. 古代地中海世界 8. ヨーロッパ中世世界の成立 9. ヨーロッパ中世世界の拡大 10. ユーラシア海域と季節風貿易 11. 内陸アジアとオアシスの道 12. 東アジア海域の交流と日本 13. 地中海海域とユーラシア	8	ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパ世界の特質を理解させる。 地中海海域のネットワークを活発化させたイタリア商人・ムスリム商人の活動と、地中海海域の交流の様相を把握させる。
第二部 一体化 する 世界	14. 16世紀の世界と一体化のはじまり 15. 明・清帝国の発展 16. 中国に隣接する諸国の変遷 17. サファビー朝とムガル朝 18. オスマン帝国	6	アジア諸帝国の政治と社会を扱い、17・18世紀の世界の特質を理解させる。 住民を改宗させたサファビー朝に対し、異教徒に寛容なムガル朝との宗教政策を対比的とらえる。
	19. アメリカの征服と植民地化 20. ルネッサンス 21. 宗教改革 22. ハプスブルク帝国と主権国家 23. 絶対王政と議会王政 24. 大西洋経済	6	大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流を扱い、16世紀の世界の一体化への動きを理解させる。 ヨーロッパに成立した主権国家体制や大西洋貿易の展開を扱い、17・18世紀の世界の特質を理解させる
	25. 啓蒙とアメリカ独立 26. フランス革命 27. イギリス産業革命 28. ウィーン体制と自由主義改革 29. 1848年とイギリス・フランス 30. クリミア戦争と中東欧 31. アメリカ合衆国・カナダ 32. ラテンアメリカと世界資本主義	10	アメリカ独立革命・フランス革命によって、アメリカ合衆国とヨーロッパに市民社会が誕生したことを理解させる。 産業革命によってイギリスの覇権が確立し、世界の構造的な一体化が進んでいったことに着目させる。 ウィーン体制下の各地で自由主義・ナショナリズムの運動が高まり、イタリアやドイツなどで国民国家が形成されたことを把握させる。

	<p>33. 19世紀のイスラーム世界 34. 南アジア・東南アジアの植民地化 35. 東アジアの列強 36. 分割を通じて進む世界の一体化 37. 帝国主義の国際対立 38. 植民地・従属国での民衆の抵抗 39. 東アジアでの民族のめざめ</p>	8	<p>ヨーロッパ列強のアジア侵略の特色を、ヨーロッパにおける資本主義の発展と関連させて理解させる。 ヨーロッパの進出によるアジア諸国の変容を把握させ、19世紀の世界の一体化を理解させる。 帝国主義時代における列強の世界政策の様相を世界史的視野から考察させ、アジア・アフリカの変貌と諸民族の民族的覚醒について理解させる。</p>
現代世界と日本	<p>40. 工業社会の成熟 41. 国民統合</p>	2	<p>19世紀末から20世紀初頭にかけての欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化に着目させ、現代社会の原型が成立したことを理解させる。</p>
	<p>42. 第一次世界大戦 43. ロシア革命 44. ヴェルサイユ・ワシントン体制 45. 1920年代のアメリカとヨーロッパ 46. アジア諸地域の抵抗と独立 47. 東アジアの民族運動 48. 世界恐慌 49. ファシズムの台頭 50. 第二次世界大戦前夜の世界 51. 第二次世界大戦</p>	1 2	<p>第一次世界大戦から1920年代の国際政治の大きな流れを理解させ、国際社会の枠組みの変化に気付かせる。 初期のソヴィエト政権が、世界革命、ことに先進ヨーロッパの革命の展開にかけた期待の大きさにきづかせる。 世界恐慌の発生からファシズムの台頭を経て第二次世界大戦終結にいたるまでの政治・経済の動向を理解させる。 第二次大戦発生の原因を、様々の要素をあげて考えさせる。</p>
	<p>52. 冷戦の開始 53. 冷戦の激化と緊張緩和 54. 第三世界の出現</p>	3	<p>米ソ両陣営の対立や民族独立運動の展開を扱い、1960年代前半までの世界の政治・経済の動向を理解させる。</p>
	<p>55. 米ソの動揺と多極化する世界 56. 冷戦の終結 57. アジア・アフリカ・ラテンアメリカの情勢 58. グローバル化と新世界秩序の模索 59. 冷戦後の地域紛争と民族問題 60. 科学技術の発達と現代文明の課題</p>	7	<p>1960年代後半から現在までの地球社会形成に向けての、諸地域世界の情勢の大きな流れを理解させる。 現代の科学技術の人類への寄与と課題について、主体的に追究させ、レポートにまとめさせたり、発表させたりする。</p>